

# 森紙店の適切な活用方法を考える

板葺き石置き屋根の残る森紙店！！



- ・日本でも数少ない板葺き石置き屋根
- ・復元されたものを除けば、「森紙店」だけ

## 必要最低限の改修工事後、今後の活用方法が未定のまま

### 板葺き石置き屋根とは

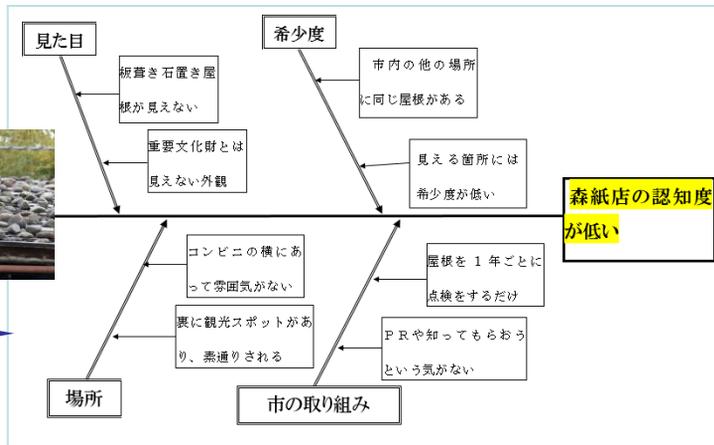
風の強い地域で屋根材の板が吹き飛ばされないように板葺きの屋根面に割り木を押しえとして渡してその棒状の割り木に石を敷き並べている屋根のことである。



→他の地域には長野の民家などに残っている

### なぜ方針が決まらないのか？

### 活用方法を考えるうえでの問題点



年に1回屋根を変えている

Q「金沢市にある森紙店知っていますか？」



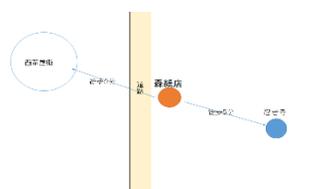
#### 森紙店の認知度

調査方法: twitter内にあるアンケート機能  
 対象者: twitter利用者  
 調査人数: 男女43人  
 調査日時: 2016.06.15~2016.06.16

認知度が低い



隣はコンビニ、裏は墓地となっていて周辺の景観は良くない



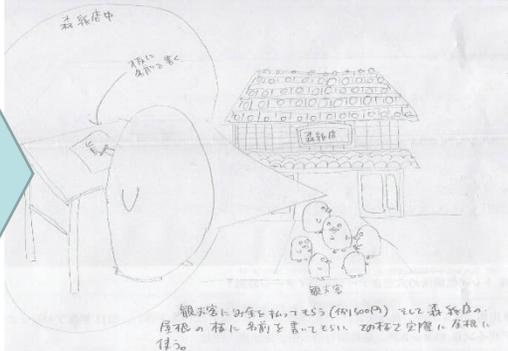
徒歩10分圏内に忍者寺 西茶屋街がある。

**仕様:条件・目標**  
 この範囲で提案を考える

- ①建物全体は現状維持
- ②認知度10%以上上げる
- ③屋根の入れ替えは1回/1年



私たちは、『文字瓦』という屋根に使用される瓦に名前が彫られている瓦を参考に次のような提案をする



#### アイデアの長所(強み)

- ・観光客に板葺き石置き屋根を身近に感じてもらうことが出来る。
- ・屋根の板は、定期的に入れ替えるので半永久的に使えるアイデアである
- ・板葺き石置き屋根の1年に抱えるコストを軽減できる。
- ・アイデアの短所(弱み)
- ・材料を提供している業者とコンタクトをとる必要がある
- ・屋根のみのアイデアだけでは、観光客が来ない
- ・インターバルが難しい



金沢工業大学  
 2016年度 プロジェクトデザイン I  
 プロジェクトテーマ: 森紙店の適切な活用方針を検討する  
 クラス番号: VA302  
 チーム番号: 3  
 チーム名: 3班  
 チームメンバー名: 青木 一史 井上 悠太 岡山 貴範 片桐 未菜 鈴木 崇裕 田中 佑樹 坪谷 一樹  
 担当教員名: 松本 重男 教授